

待ちに待った給食
ごはん かつおフライ
切り干し大根の煮物
えのきのみそ汁

夢の車 ほぼ日刊 Character

第683号

神町中学校 夢色通信社
令和2年7月15日



山形新聞 少年少女の声（7月15日より）

部活動の価値 消えない

3年 林 侑和

「なぜオリンピックに出場するのか」、「負けてしまった人には価値はないのか」。今回の道徳では2つの課題が出されました。確かにオリンピックには、皆が勝つために出場すると思います。でも、負けてしまった人や代表に選ばれなかった人には価値がないとは思いません。たとえ負けてしまっても、今までに積み重ねてきた努力や、それまでの過程で得た経験や思いは決して無駄にはなりません。むしろ必ずその先の人生において、大きな人生の糧となると思います。ですから、負けてしまったからといってその人の価値がなくなるとは思いません。

スポーツを通して努力した人は、必ず何かを得ることができます。スポーツを見る人は、選手達が今まで努力してきた成果をプレーを通して感じるができるから、大きな声で応援しなくなってくるのだと思います。そして、それがスポーツが人々に愛される理由だと思います。

今年は私たちも大会に出られませんでした。が、これまでの部活動に価値がなかったとは思いません。私は、部活動を通してあきらめずに繰り返し練習することで必ず力がつくこと、くじけそうになった時に仲間の存在が大きな力になるということなど、大切なことをたくさん学べたと改めて感じました。中学校最後の大会はなくなってしまいましたが、部活動で学んだことをもとに、次の目標に向かって頑張っていきたいと思っています。



新型コロナウイルスの影響で延び延びになっていた、生徒会主催のエコキャップ・アルミ缶回収が久々に行われた。朝からたくさんの生徒がエコキャップやアルミ缶を手にして登校する姿が見られた。小関健矢くん（2年）は、「家にあったので持ってきました。生徒会のためになればと思います。」と話してくれた。生徒会議長の大沼瑠祐くん（3年）は、「思ったよりもたくさん集まりました。明日も回収するので、みなさん、協力をお願いします。」と取材に応じてくれた。

職員昇降口には、きれいな花が飾られています。これは、山形県花き生産連絡協議会が主体となり、県内の全小・中・高等学校等は無償で飾られているものです。山形県産の花を飾り、花に触れることによって日常生活における花の活用などにつなげてほしいという意味があります。今回の花は「ゆり」。花言葉は「威厳」「純粋」。細い茎に大きな花を咲かせるため、風に吹かれると大きく揺れます。その揺れる様子から「揺すり」と呼ばれるようになり、それが変化して「ゆり」と呼ばれるようになったと言われています。

